

大阪府泉佐野市における「子どもの第三の居場所」(B)
コミュニティモデルの開設と運営(1年目)
2023年度事業報告書

令和6年4月

NPO法人
麒麟子ども応援団

Ⅰ 事業計画

(1) 事業目的

生き抜く力を育む「子ども第三の居場所」を開設・運営する。

行政、NPO、市民、企業の方々と協力し、誰一人取り残さない地域子育てコミュニティをつくることで、「みんなが、みんなの子どもを育てる社会」を目指す。

<中長期 ※3 年後>

泉佐野全域の子ども達を対象とした、生き抜く力を育む「子ども第三の居場所」を開設・運営する。地域の企業や団体等と連携して、支援事業と体験事業を進めることで、泉佐野市内において半数以上の子ども達が繋がり、家と学校以外の居場所が確保されている状態とする。

<最終目的>

行政、NPO、市民、企業の方々と協力し、地域で子ども達の居場所を作り、支援と体験活動を組み合わせたプログラムを実施していくことで、自分の未来に自信をもって踏みだせる子ども達が社会にあふれている地域とする

(2) 目標

- ・ 2023 年 10 月 31 日までに「子ども第三の居場所」コミュニティモデルを開設する。
- ・ 運営開始までに関係各所（自治体・学校・SSW など）へ事業の説明会を実施する。
- ・ 2024 年 3 月 31 日までに一日平均利用児童数を 30 名にする
- ・ ボランティア等の地域住民や、行政、学校との関係構築、多世代交流機会を月に 1 度提供する。
- ・ 子どもの「経験の不足」を解消するような定期的なイベントを事業期間内に 3 回実施する。
- ・ 参加者の非認知能力 80%以上向上（参加者アンケートにて調査）
- ・ 2024 年 3 月に非認知能力について報告会をオンライン開催（1 回）

(3) 事業内容

【事業内容】

- Ⅰ. 大阪府泉佐野市における「子ども第三の居場所」(B) コミュニティモデルの開設
 - a. 物件現況：空き家
 - b. 取得形態：賃貸
 - c. 内容：構造躯体補強、内装、外装、電気工、設備配管工、サイン工事など
 - d. 施設名称：子ども第三の居場所（仮）

e.面積：総面積約 280 m²

f.構造：木造 2 階建

g.施設概要：食事・学習スペース、キッチン、トイレ、自習室、相談室、事務室など

2. 大阪府泉佐野市における「子ども第三の居場所」(B) コミュニティモデルの運営

a.期間:2023 年 10 月 1 日～2024 年 3 月 31 日(週 3 日 15 時から 19 時まで開所)

b.場所：大阪府泉佐野市

c.対象：20 名（家庭や自身に課題を抱えた小学校低学年中心）

d.内容：様々な課題を抱える地域の子どもたちに対して、学習支援・食事支援（食材配布も実施）と基本的な生活支援を実施。地域の多世代と連携し体験機会を作る。不登校の子どもたちに社会的自立を目的とした学習支援を行う。活動成果として非認知能力を測定し報告会を行う。

2 事業実績

(1) 開所事業

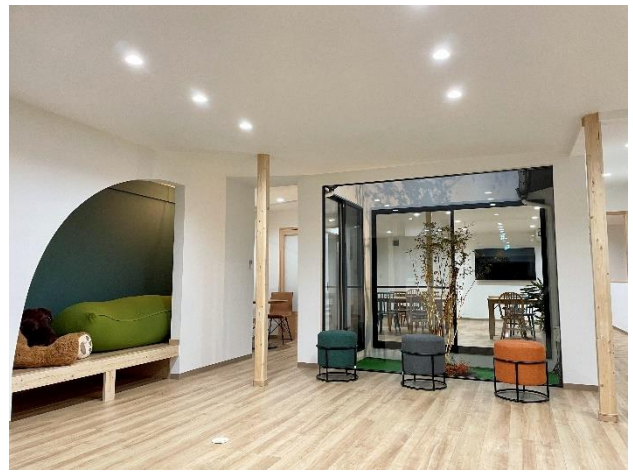
2023年4月から準備をはじめ、開所準備中に学校や市役所、社会福祉協議会に事業の説明会を個別に開催することができた。

古民家であることから工事期間が延長された結果、目標であった10月31日までの開所は間に合わなかったものの、11月14日に開所式が開催することができました。

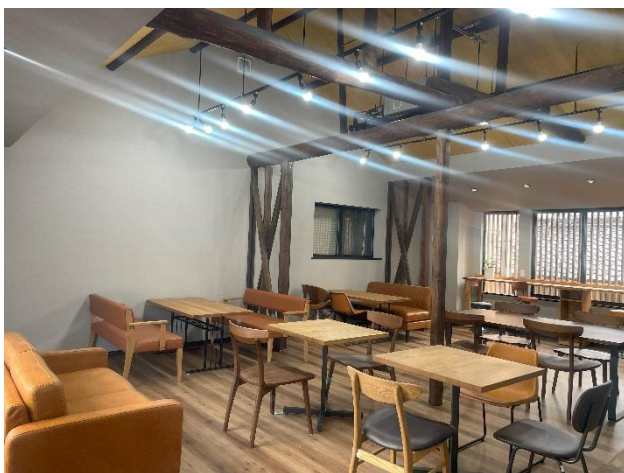
開所式は、泉佐野市長千代松大耕様をはじめ多くのご来賓をお迎えし、盛大に開催されました。



外観写真



1階



2階

(2) 利用者実績

11月14日に開所した「麒麟の家 まちば拠点」では、日中は不登校の子ども達が学び・過ごせる居場所、夕方から週3回地域の子供達が学習支援（食事つき）を受ける場所として運営し、以下の子ども達が参加してくれました。

A 不登校支援事業（日中）

小学生	中学生	合計
8	3	11

※出席扱い 8名（希望者のみ）

B 学習支援事業（夕方～）

小学生	中学生	合計
15	17	31

(3) 開催実績及び参加延べ人数

A 不登校支援事業：92日 参加延べ人数 570人（平均 7人/日）

B 学習支援事業：57日 参加延べ人数 849人（平均 16人/日）
合計 1217人

(参考) 学習支援事業の開催回数

月	開催回数	体験活動	参加者合計
11月	11	0	142
12月	11	1	156
1月	11	3	136
2月	12	3	205
3月	12	3	210
合計	57	10	849

(3) 活動内容

①不登校支援事業

- ・小学生～中学生を対象に平日毎日10時～16時まで不登校支援事業を実施。
- ・不登校の子どもを持つ保護者を対象とした「親の会」を6回開催。
- ・行政や学校と協議・連携し、希望のあった8名について出席扱い。
- ・学校、保護者、居場所の3者が連携し、子ども達をサポートする体制を構築。
- ・まずは、キリンの家まちば拠点を居場所と感じてもらえるよう、じっくりサポートしてきました。
- ・学校に繋がれていないことで、さまざまな体験機会を失っているため、調理体験や性教育、eスポーツ体験など体験事業を実施しました。またクリスマスイベントや遠足なども実施しました。

②学習支援事業

- ・2023年11月から毎週火・木・金曜日の17時～20時まで学習支援を実施し、合計57回開始しました。
- ・事前登録制で、登録前に保護者面談は必須として、定期的なアンケートも実施しました。
- ・17時～20時まで学習支援の居場所として開所し、18時には食事提供も実施しました。
- ・合計31人の子ども達が登録してくれており、学習に遅れがあるが塾に通えない事情がある子ども達や、学習意欲はあるものの様々な事情により学習塾に通えない子ども達が通ってくれています。
- ・また生活習慣を身に着けるため、食事準備や洗い物・片付けなども子ども達自身が行い、終了15分前からは子ども達自身で掃除も実施しています。

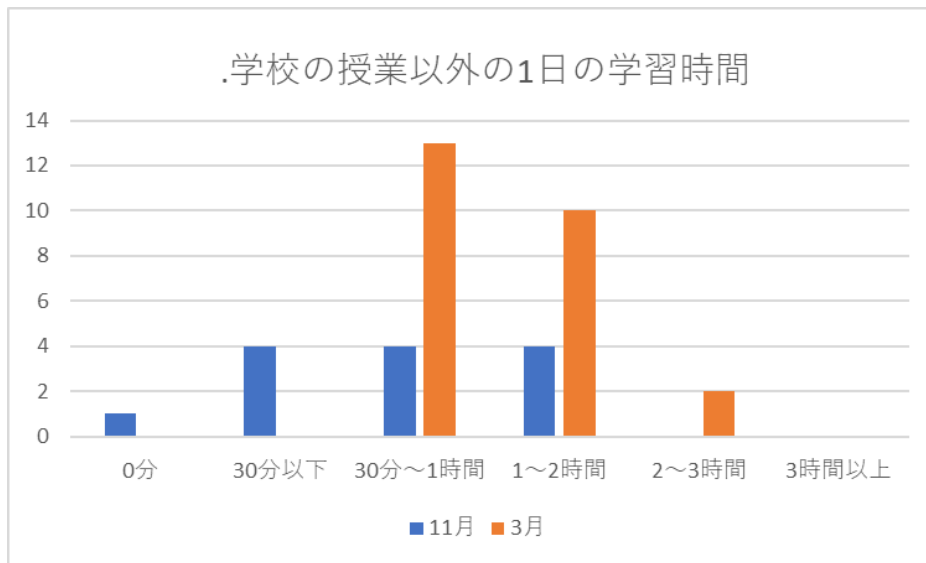
3 アンケート結果まとめ

11月～3月まで学習支援を実施している子ども達を対象にアンケートを実施した。

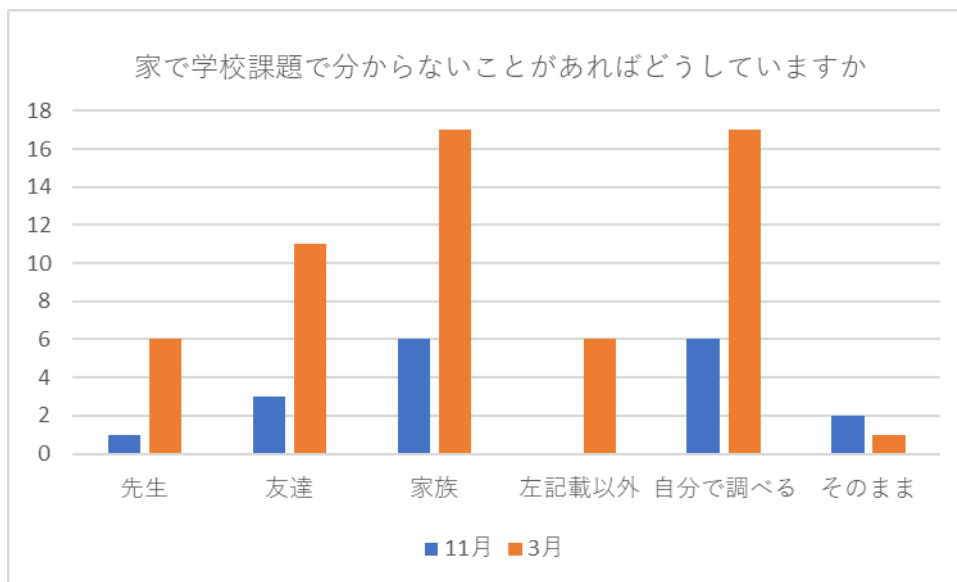
対象者 学習支援に参加している子ども達（小学生～中学生31人）
 回答者 11月時点（13名） 3月時点（25名） 合計2回

月 日 名前：	
<p><勉強について教えてください></p> <p>1. 学校の授業時間以外に1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか。 1つだけ○をしてください。（学習塾で勉強している時間も含まれます）</p> <p><input type="checkbox"/> 3時間以上 <input type="checkbox"/> 2時間～3時間 <input type="checkbox"/> 1時間～2時間 <input type="checkbox"/> 30分～1時間 <input type="checkbox"/> 30分以下 <input type="checkbox"/> 全くしない</p> <p>2. 家で学校からの課題で分からないことがあったとき、どのようにしていますか。 当てはまるもの<u>全て</u>に○をして選んでください。</p> <p><input type="checkbox"/> 先生に聞く <input type="checkbox"/> 友達に聞く <input type="checkbox"/> 家族に聞く <input type="checkbox"/> 先生・友達・家族以外の人に聞く <input type="checkbox"/> 自分で調べる <input type="checkbox"/> 分からないことはそのままにしている <input type="checkbox"/> 分からないことはない</p> <p>3. 家で自分で計画を立てて勉強をしていますか。1つだけ○をしてください。 （学校の授業の予習や復習を含みます）。</p> <p><input type="checkbox"/> よくしている <input type="checkbox"/> ときどきしている <input type="checkbox"/> あまりしていない <input type="checkbox"/> 全くしていない</p> <p><あなた自身について教えてください></p> <p>⑤ 今の自分が好きだ</p> <p><input type="checkbox"/> あてはまる <input type="checkbox"/> どちらかといえば、あてはまる <input type="checkbox"/> どちらかといえば、あてはまらない <input type="checkbox"/> あてはまらない</p> <p style="text-align: center;">（次のページにつづく）</p>	<p>1. 自分には良いところがあると思う。</p> <p><input type="checkbox"/> あてはまる <input type="checkbox"/> どちらかといえば、あてはまる <input type="checkbox"/> どちらかといえば、あてはまらない <input type="checkbox"/> あてはまらない</p> <p>6. 自分の親（保護者）から愛されていると思う</p> <p><input type="checkbox"/> あてはまる <input type="checkbox"/> どちらかといえば、あてはまる <input type="checkbox"/> どちらかといえば、あてはまらない <input type="checkbox"/> あてはまらない</p> <p>7. うまくいくかわからないこともがんばって取り組む</p> <p><input type="checkbox"/> あてはまる <input type="checkbox"/> どちらかといえば、あてはまる <input type="checkbox"/> どちらかといえば、あてはまらない <input type="checkbox"/> あてはまらない</p> <p>8. あなたは、今自分が幸せだと思いますか。</p> <p><input type="checkbox"/> そう思う <input type="checkbox"/> どちらかといえば、そう思う <input type="checkbox"/> どちらかといえば、そう思わない <input type="checkbox"/> そう思わない</p> <p>9. あなたにとって居場所（ほっとできる場所、安心できる場所）と感じるもの <u>全て</u>に○してください。</p> <p><input type="checkbox"/> 自分の部屋 <input type="checkbox"/> 家 <input type="checkbox"/> 学校 <input type="checkbox"/> 地域（図書館や公民館、こども食堂など） <input type="checkbox"/> インターネット空間（SNSやYoutube）</p> <p>10. 今、あなたにとって「キリンの家」はどんな場所ですか。一つだけ○してください。</p> <p><input type="checkbox"/> 勉強をする場所 <input type="checkbox"/> ほっとできる場所 <input type="checkbox"/> 楽しい場所 <input type="checkbox"/> 大人に会うことが楽しみになる場所 <input type="checkbox"/> 行きたい場所 <input type="checkbox"/> その他 → (_____)</p>

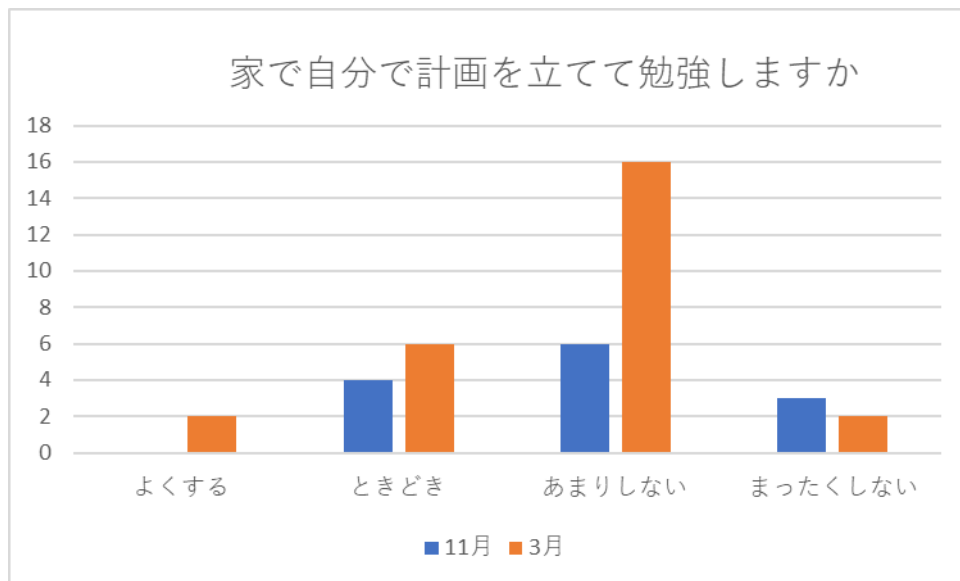
2) アンケート結果と考察



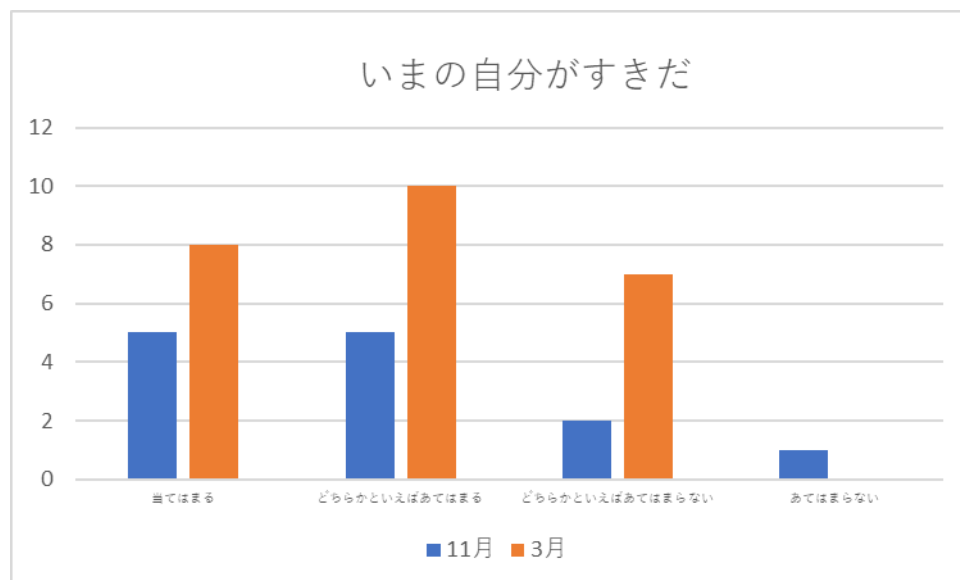
1日の学習時間を問う質問では、子ども達の学習時間が大きく改善したことがうかがえる結果となった。特に、11月時点では中央値は1時間以内であったが、3月時点では1～2時間になっていることが分かる。



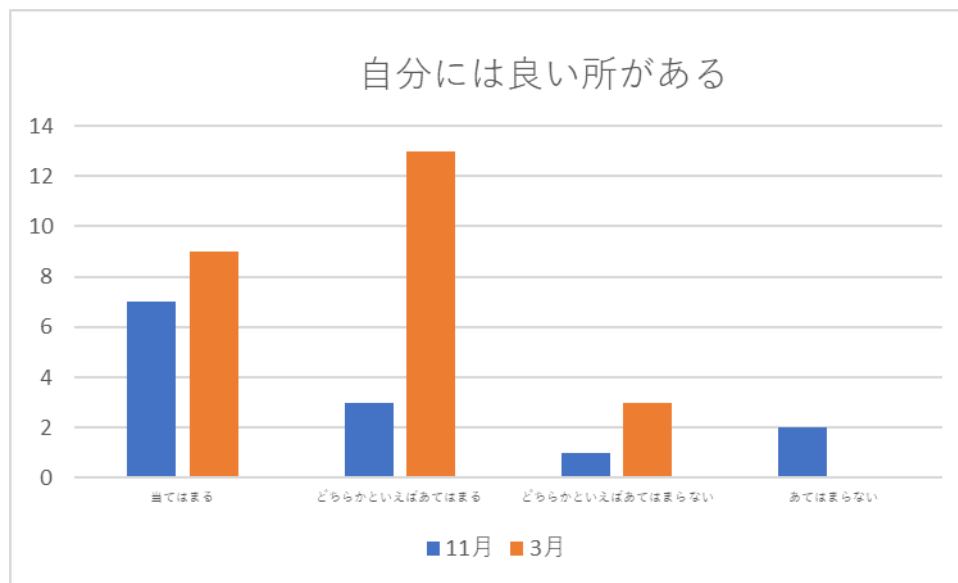
本質問の結果により、子ども達は学習で分からないところが出てきた場合、誰かに聞くようになっている又は、自分で調べる習慣がついてきたことが分かった。ただし、また「そのまま」という子どももいるので、学習支援で聞ける体制を作ってあげたい。



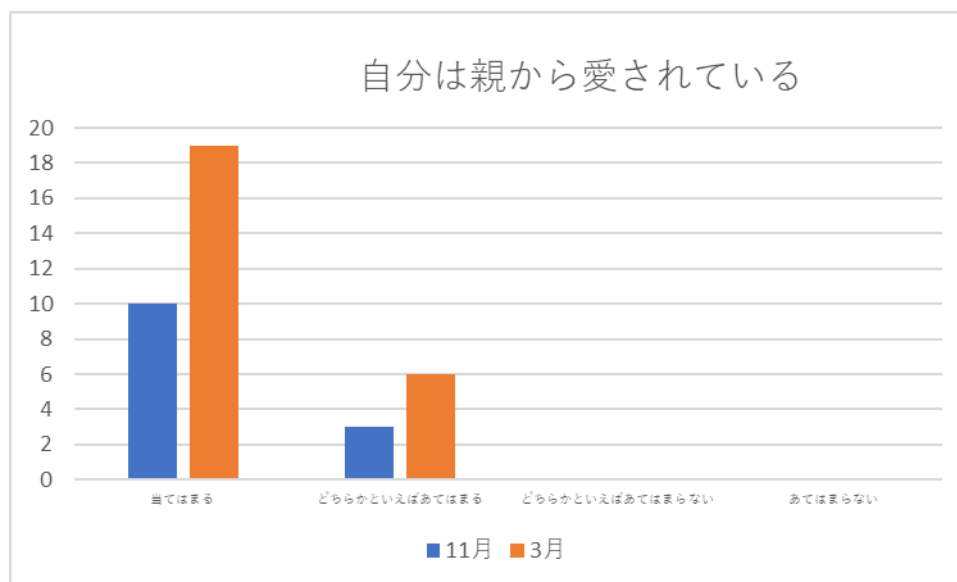
学習計画について問う質問では、11月時点に比べて計画を立てるようになった子ども達がいる一方で、「あまりしない」と回答した子ども達が最も多かったことから、自分で計画を立てる練習を実施していきたい。



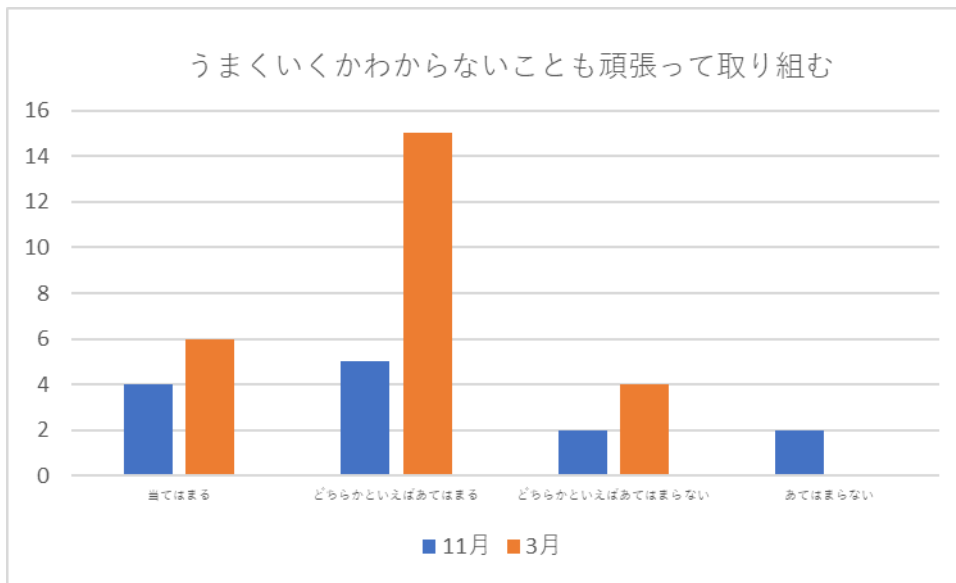
自己受容・自己肯定感を聞く本質問では、傾向としては大きな変化はなかった。僅差ではあるものの、改善傾向にあるため、長期的な取り組みを実施していきたい。



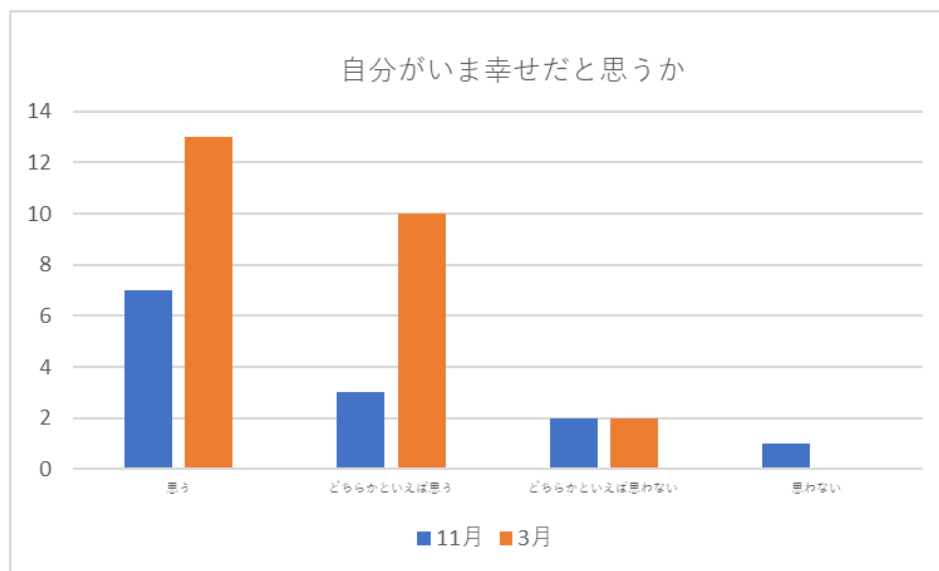
「自分には良いところからあると思うか」という質問については、「あてはまらない」「どちらかといえば当てはまらない」と回答した子ども達が減少し、「どちらかといえあてはまる」と回答した子ども達が多くなった。



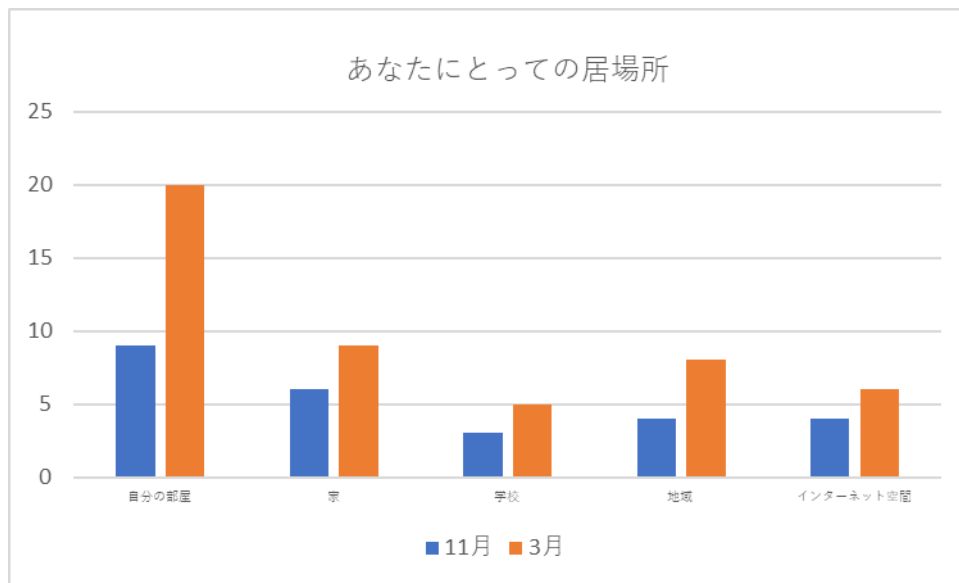
「自分は親から愛されているか」を問う質問では、「当てはまる」「どちらかといえあてはまる」と回答している子ども達がほとんどであることが分かった。



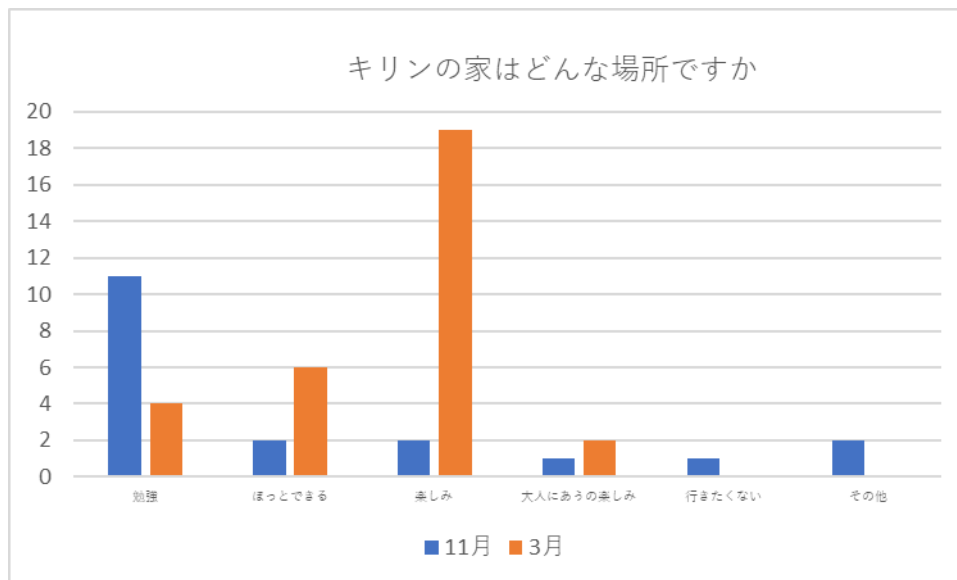
「うまくいくかわからないことも頑張って取り組めるか」を問う質問では、傾向として「どちらかといえばあてはまる」と回答した子どもが多かった。また「あてはまらない」と回答した子ども達が0になった点は11～3月という短期ではあるものの、改善してよかった点である。



「自分がいま幸せだと思うか」を問う質問の回答について、「どちらかといえば思わない」「思わない」と回答した子ども達が減ったことが分かる。



「あなたにとっての居場所」を問う質問では、大きな変化はなかったものの、子ども達は自分の部屋からインターネット空間まで様々なところを居場所であると感じていることが分かった。



麒麟の家について、学習支援事業であることから、子ども達は当初「勉強」の回答が多かったものの、3月時点では「楽しみ」に来ていることが分かった。

3 事業総括

(1) 事業の成果

工事の遅れがあったものの、11月14日に開所することができた。

開所当初から子ども達が多数来てくれたことは、地域の小学校や社会福祉協議会、行政などがチラシ配布に協力いただくなど、開所までの準備がスムーズであったためであるとする。

また子ども達の利用人数については目標であった30名に対して、不登校支援・学習支援で合計23名と目標には届かなかったものの、支援性が高い子ども達も多く、結果的には良かったとする。来年度に少しずつ目標に近づけるよう頑張っていきたい。

また、居場所創りを通して、さまざまな体験事業を実施することができた。居場所に慣れない子ども達も多かったので、基本的には講師の方をお招きした体験事業をメインで実施したが、今後は子ども達が主体となる体験事業を実施していきたいとする。

アンケート結果から、子ども達の学習習慣が改善してきており、キリンの家を「楽しみ」に来てくれていることが分かった。

今回のアンケート結果からは、自己受容や自己肯定感の高まりについて大きな傾向の変化は捉えられなかったものの、自己否定感の強い回答は減少したことが分かる。

今回のアンケートは11～3月までの短期的なものであったため、来年度は長期的な変化をとらえていきたい。

(2) 今後の課題

- ・11月に開所して、地域の皆様の認知度は低いため、地域を巻き込んだ活動を積極的に問い入れていきたい。
- ・非認知能力シートについて作成したものの、支援性の高い子ども達にとっては負担が大きかったことから、2024年4月からの運用スタートとすることとした。

(本報告書の最終に非認知能力シートを添付)

(3) 来年度の取り組み

不登校支援、学習支援(食事つき)の事業を継続していくことで、さまざまな環境にある子ども達が未来に踏み出せるようサポートしていきたい。

また、両事業について来年度は、子ども達が主体となった体験事業を進めていきたいとする。

【参考】キリンの家 非認知能力シート（転載不可）

		名称	定義	レベル1	～	レベル3	～	レベル5
自分と向き合う力	自分をコントロールする力	自制心	自分の想いや感情を理解し、今するべきことを考え、行動できること	自分の想いや感情を理解することができる	～	自分の想いや感情を理解し、今するべきことを考えることができる	～	自分の想いや感情を理解し、今するべきことを考え、行動できる
	粘り強さ	忍耐力	すぐに解決できない問題が起こった時、解決できる方法を探し、考えて行動できること	問題が起こった時、原因を探ることができる	～	問題が起きた時、解決できる方法考えることができる	～	問題が起きた時、解決できる方法を考えて行動できる
自分を高める力	チャレンジする力	向上心	失敗を恐れずに自分のやりたいことを見つけチャレンジできること	自分のやりたいことを見つけることができる	～	自分のやりたいことを見つけチャレンジすることができる	～	自分のやりたいことを見つけ、チャレンジし、失敗しても再度チャレンジすることができる
	自尊感情	自尊心	自分ならできると自分の力や可能性を信じ、自分らしさを出せること	自分の力や可能性を知ることができる	～	自分ならできると自分の力や可能性を伸ばすことができる	～	自分ならできると自分の力や可能性を信じ、自分らしさを出すことができる
他者とつながる力	思いやる力	受容・共感	仲間の立場や思いを理解し受け入れ、相手が分かりやすい言葉で伝えられること	仲間の立場や思いを理解することができる	～	仲間の立場や思いを理解し、受け入れることができる	～	仲間の立場や思いを理解し受け入れ、相手にとって分かりやすい言葉で想いを伝えることができる
	コミュニケーション力	相互理解	自ら人と意思疎通を図り、時には考え方に違いがあることを知り、お互いの意見を尊重できること	自らの意見を相手に伝えることができる	～	自らの意見と相手の意見を伝え合うことができる	～	自らの意見と相手の意見を伝え合うことができ、お互いの意見を尊重することができる